

明光電子



十川 社長

明光電子は、約30万点の電子デバイスの取り扱いに加え、各種技術サポート、購買代行、受託製造サービスなども手がけるエレクトロニクスの「統合商社」として、さらなる進化をめざす。13年もLED照明、移動通信、自然エネルギーといった新規ビジネスへの取り組みを強化していく。

同社は、少量多品種生産が中心の産業機器市場を中心に多くの実績を積み重ね

クトロニクス商社。「トップメーカーの半導体、電子部品を扱う」（十川正明社長）との基本理念の中で、約30万点に及ぶ製品を取り扱う調達力を誇る。

一方で、プログラマブルデバイスの設計など充実した技術サポート体制を敷く。さらに、購買・在庫管理代行サービスも実施。エレクトロニクス商社に求められるサービスを統一的に提供できる。

その中で明光電子は、継続して新規市場、新技術への取り組みを実施。11-12年では、LED照明関連ビジネスを立ち上げ、ロームグループ製品を中心に小売

新規ビジネスへの取り組み強化

・飲食店など向けへの販売を堅調に伸ばしている。

太陽光発電システムなど新エネルギー分野では、得意とする電源関連デバイスを中心に受注を拡大。「13年は、デジタル無線応用機器など近年、種まきを続けてきた分野での成果が多く得られる見込み」と言う。

また13年は将来に向け、各種プログラマブルデバイスへの取り組みも強化する。すでに多くの実績があるFPGAなどの拡販に加え、現在、ルネサスエレクトロニクス製デバイス「スマートアナログIC」の提案を強化中。明光電子では、オ리지ナルのスマートアナログIC評価ボードも製品化し、提案を実施している。